

萌 芽

第1学年 学年通信 3号 令和8年5月29日



よいピア・サポーターを目ざして



12日(火)に本校のスクールカウンセラーを務める殿木道子先生を講師として、ピア・サポート集会を行いました。ピア・サポートとは、ピア(peer:同世代の仲間の意味)とサポート(support:支える、支援する)を合わせた言葉です。ピア・サポートする人をピア・サポーターと言います。ピア・サポーターの目標は、「悩んでいる人、困っている人の心に寄り添い、その人がもっている問題を解決しようという意欲を引き出す関わりをすること」です。ピア・サポーターとして、「努力の成果が実った友人への温かい言葉かけ」や「級友の無理なお願いに対する上手な断り方」など、ふだんの生活でもありそうな場面でのよりよい対応について、ロールプレイをとおして学びました。また、「家出の計画を立てているという友人の秘密を知ってしまったとき、自分はどのように声をかけるべきか」という殿木先生の問いかけから、友人を心配するからこそ、たとえ友人であっても守ってはいけない秘密があるということ学びました。なにげない挨拶や会話のなかに、ピア・サポートのタイミングはたくさんあります。一人一人がよいピア・サポーターになり、温かで居心地のよいクラスを目ざしていきましょう。



ロールプレイのようす

相談に乗れたり、人の話を否定したりしない人になりたいです。ポジティブな発言で皆を明るくしていきたいです。

相談に乗るときや話を聞くときの態度は、人の印象を左右することがわかったので、気をつけたいと思いました。

友達のよいところは探せば探した分だけありました。もっと友達のよいところに気づけるようになりたいと思いました。

サポートする方法はたくさんあるので、必要な子がいたら学んだことを生かして行動してみようと思いました。

ただ名前を呼んで「おはよう」と言ってもらうだけでうれしかったです。こういうことが大切だと思いました。

人との関係づくりは話し方や日々の行動だと思ったので、今回学んだことを忘れずに生活していきたいです。

友達のピア・サポーターになれるように、目を見て話すなど、いつもやっていることに工夫をしたいと思いました。

ピア・サポート集会の振り返りより ※一部抜粋

スクールカウンセラー殿木先生に悩みや迷いを相談できます。生徒の皆さんも、保護者の方も相談できます。担任にお申し込みください。
【1学期の来校予定日】 6月9日、16日、23日、7月7日、16日

進路学習会でなりたい自分を考えました

25日(月)に、進路指導主事の小倉先生を講師に、キャリア学習の一環として進路学習会を行いました。「進路って何?」「就職先や進学先をどうやって選ぶ?何をしたらいい?」小倉先生の問いかけに応じるなかで、将来の自分の姿を考える機会になりました。進路を考える=卒業後の進学先を考えると人がよく見られます。「どの学校に行くのかではなく、なんのために行くかを考えることが重要である」という言葉や、「10年後どうなりたいか、夢をえがこう。そのためには、自分自身を知り、自分を高めよう」という言葉は、本校で何年も進路指導に携わり、何百人もの生徒の進路を見てきた小倉先生の知見が込められていました。「日々の積み重ねのなかで“人間性”を高めていこう」という言葉で締めくくられた学習会で、改めて日々の生活の大切さを学びました。

今週から、1年生全体で「デカキビウィーク」として、授業の挨拶の大きさや礼の一体感のレベルアップを目ざすイベントを行っています。どのクラスも、元気な挨拶が廊下まで聞こえてきます。なにげともポジティブに、一生懸命にやることはこの先、社会人になっても大切なことです。「デカキビウィーク」が終わっても、継続していけると素敵です。



進路学習会のひとコマ